

計画策定に向けた視点

奥出雲町の「強み」と「課題」を踏まえたまちづくり～戦略的検討の視点～

奥出雲町の強み	奥出雲町の課題
<p>■豊かな自然・歴史景観形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国選定重要文化的景観 ・中国地方初の日本農業遺産・日本遺産認定 <p>■高品質な農林畜産物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁多米・仁多牛・しいたけのブランド化 ・「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」 <p>■新産業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化・農商工連携 ・再生可能エネルギー・新電力事業 ・起業支援・古民家オフィス <p>■技術を有する製造業・企業誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自技術を有するメーカー ・ソフト系IT等研究開発型企業の誘致 (人材育成プログラム・企業合宿) <p>■特色ある教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生たたら体験学習、ふるさと教育 ・横田高校魅力化事業 ・島根リハビリテーション学院及び島根デザイン専門学校による実践的な職業教育 <p>■多様な交流・Uターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な交流活動・観光コンテンツ ・就農等Uターン（農泊体験等） ・スポーツツーリズム・合宿など <p>■ワークライフバランス・子育て環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性が育児と仕事を両立できる環境 (女性の高い就業率 全国比で10～20%高い) 	<p>■若者の町外流出・高齢化・少子化の進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学・就職による若者の町外流出 ・若者の就労先の受け皿不足 ・初婚年齢の上昇、未婚率の増加（少子化の進行） ・一人暮らし・高齢者世帯の増加 <p>■産業の活性化／後継者・人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の高齢化や後継者不足による廃業 ・中小零細企業における人材確保等経営資源の不足 <p>■基幹産業である一次産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業における高齢化の深刻化、担い手不足 ・有害鳥獣による農作物被害の深刻化 ・小規模農家を中心とした畜産業等の廃業 <p>■商業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元購買率の低下 (近隣都市への大規模店舗進出、モータリゼーションの普及、消費者ニーズの多様化等による) ・商店の廃業、空き店舗の増加 ・中心市街地の活力低下 ・買い物弱者の増加 <p>■持続可能なコミュニティづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観維持・防災の担い手不足 ・若い世代（地域の担い手）の負担増 ・地域活動に若者や女性が参加しにくい環境 ・世代間交流不足 ・人口減少による空き家の増加 <p>■生活基盤の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関・地域交通の維持 ・下水道等の社会基盤の維持管理費の負担増加

これからの奥出雲町を取り巻く外部変化要因

	外部変化要因	新たな取り組みの視点（案）
1	■人口減少社会 少子化・高齢化による人口構造の変化	○地域社会の担い手の減少 ○高齢者一人を少ない現役世代で支える社会
2	■東京圏への一極集中の是正 ・災害などに対する脆弱性・国土の強靱化 ・高齢化する大都市	○都市機能の地方移転によるリスク分散 ○ポストコロナにおける新しい価値観 ・大都市の過密を避けたローカルシフト ・地方回帰の流れ
3	■持続可能な地域づくり ・SDG s（持続可能な開発目標）と地方創生 ・多様な主体の参画	○消費の縮小による地域経済の衰退 ○小さな拠点づくりによる地域経済活動の維持 ○地域資源を活かした地域活動・経済の活性化 ○住民・事業者・行政による協働のまちづくり ○新たな担い手としての関係人口 ○持続可能性を意識した取組のニーズ
4	■働き方改革・QOLにおける価値観の変化 ※QOL：(クオリティ・オブ・ライフ) 一般に、ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた『生活の質』のことを指し、人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということとを尺度としてとらえる概念	○ワーク・ライフ・バランスへの関心の高まり ○女性や高齢者の労働市場への参加 ○新テクノロジー活用による労働生産性の向上 ○テレワークの急速な普及による働き方の多様化 ○「物質的な豊かさ」から「精神的な豊かさ」へ ○一人ひとりの価値観に応じた多様な人生選択が行える環境づくり
5	■ICTの発達による社会的課題解決 ・第4次産業革命 (IoT、ビッグデータ、AI（人工知能）、ロボットによる技術革新)	○Society 5.0による新たな価値や産業の創造 ・AIロボット等の活用による労働生産性の向上 ・農林畜産業のスマート化 (AI・ロボット・ドローン技術等) ・次世代モビリティ（自動運転システム） ・次世代ヘルスケア（オンライン医療普及） ・オンライン化による行政サービスの向上
6	■安心・安全に対する意識の高まり	○地震や豪雨など自然災害の大規模化・甚大化 ○ハード・ソフト両面での防災・減災 ○消費形態の多様化による消費者被害の深刻化 ○子ども・高齢者を狙った悪質な事件の増加
7	■健康づくりと生涯現役社会	○人生100年時代の到来 ○医療・介護需要の増大 ○健康寿命の向上による高齢者の社会参画促進
8	■社会資本ストックの維持・更新	○高度成長期に整備された社会資本ストックの老朽化の進行 ○インフラ維持管理・更新費の財政圧迫 ○インフラの戦略的な管理・運営
9	■厳しい財政状況への対応	○人口減による税収・地位法交付税の減少 (基金の取り崩し) ○高齢化に伴う社会保障費の増加による財政圧迫 ○財政健全化の必要性